



笑顔が集まるみんなの居場所 / おいでよ！子ども食堂



☎記事について…広報統計課 ☎43-9317

☎子ども食堂等支援事業について…子育て支援課 ☎43-9342

子ども食堂とは、無料または低額で栄養のある食事や温かなだんらんを提供する居場所で、地域住民やボランティアによって運営されています。

2～5ページで、市内にある15か所の子ども食堂をご紹介します。おいしい料理を食べたり、楽しい時間を過ごしたりできる子ども食堂を利用してみませんか。

①開催頻度 ②時間 ③場所 ④料金 ※大人の料金のみ記載している食堂は、高校生以下無料です。



詳しくはこちら

ふれ愛・あおば食堂

要申込



- ①年8回程度
- ②10時30分～13時30分
- ③八戸あおば高等学校
- ④大人300円
- ☎八戸あおば高等学校 ☎22-3470

ふれ愛・あおば食堂の活動は、高校生ボランティアと料理を作るところから始まります。ご飯を食べた後は片付けをして、遊んだり勉強をしたりして過ごします。

この食堂が、利用者にとって第3の居場所になることを目指して活動しています。お気軽にご利用ください。



パクパクルーム

要申込



- ①毎月第4(日)
- ②11時30分～13時
- ③はっち4階 食のスタジオ
- ④大人100円
- ☎はちのへ未来ネット ☎22-5822

毎回30人程度の利用者が集まります。メニューは当日のお楽しみで、参加者に喜んでもらえるように考えています。公民館で開催する際は、地域の皆さんにも来ていただけるように、映画の上映会などのイベントを同時開催しています。

子どもたちと地域の皆さんがつながる場所になってほしいと思います。



夕暮れcafe・おしゃべりcafe

要申込



- ①毎月1回・毎月1～2回
- ②17時～18時30分・11時～12時30分
- ③みんなの森オアゾ
- ④無料・親子1組500円
- ☎鳳明学園 ☎51-8266

「みんなが家族になれる場所」のコンセプトのもと、自然豊かな環境の中で、心もおなかも満たされる食堂を目指して活動しています。

夕暮れcafeは、親子でゆっくり夕食を食べてほしい、おしゃべりcafeは、子育て支援サークルで仲良くなった親同士食事をしながら交流してほしいという思いで開催しています。



かふえ だいだい



- ①毎月第3(土)
- ②10時～15時
- ③Kitchen DaiDai
- ④大学生以下無料、大人300円
- ☎こころすこやか財団 ☎27-7094

かふえ だいだいは、毎回20～30人の子どもたちが利用しています。高校生などがボランティアとして調理や配膳を担当しながら、子どもたちと交流しています。

世代に関係なく、誰もが気兼ねなく過ごせる空間が魅力です。地域の温かさを感じたい人はぜひ一度足を運んでみてください。



うみねこ地域食堂

要申込



- ①毎月1回程度
- ②14時～16時
- ③種差小学校、南浜公民館
- ④大人300円
- 申間浜っこTime
- E yuki.reva.miyoshi@gmail.com

体験型の学習活動の後に、その内容にちなんだ食事を提供することで子どもたちの理解を深めています。公民館で開催する際は、地域住民の憩いと交流の場として、世代を超えたつながりを育んでいます。

子どもにとっては安心できる居場所となり、高齢者にとっては生きがいをもたらす温かな場所となるような地域づくりを推進しています。

根城子ども食堂

要申込



- ①毎月3回(日)
- ②12時～13時
- ③根城コミュニティセンター
- ④無料
- 申間ワイド・ラピッズ
- TEL 20-7035

元料理人の監修のもと、「まるでレストランで食事をしているみたい」と驚かれるようなメニューを考え、料理を提供しています。

今年は、夏休み子ども食堂を企画するなど、工夫して活動しています。

近所の子どもたちが気軽に歩いて来れるような食堂を目指しています。



つながり食堂「ほっこり」



- ①毎月1回
- ②15時～17時
- ③みんなの森オアゾ
- ④無料
- 固みつは会
- TEL 27-8787

1人でも安心して来ることができ、人とのつながりを大事にする居場所として、5月～翌年2月に開催し、毎回60人程度の人が利用しています。

食後に遊ぶことができるフォレストガーデンや駄菓子ショップ(有料)、宿題スペースがあります。ピクニック気分を味わいたい人など、お気軽にお越しください。



今こねっと八戸子ども食堂

要申込



- ①毎月1回(日)
- ②11時～14時
- ③江陽公民館
- ④大人300円
- 申間今こねっと八戸
- TEL 080-6006-4245

6月からスタートした子ども食堂です。現在は30人程度の子どもたちが利用しています。これから宣伝をして、たくさんの子どもたちが来てくれるような場所を目指します。

食事だけでなく、ゲームや工作など、楽しんでもらえるような企画も毎回行っています。

7年度
開設

今日みんなでなにたべるー

要申込



- ①毎月1回
- ②11時30分～13時
- ③柏崎公民館、小中野公民館
- ④大人300円
- 申間今日みんなでなにたべるー
- E minshoku.8@gmail.com

8月に開設したばかりの子ども食堂です。出来たてで温かい、手作りのおいしい料理を提供することを目標にしています。

食堂名のとおり、子どもたちから何を食いたいアンケートを取り、回答された料理を組み合わせてメニューを考えています。落ち着いた雰囲気です。

7年度
開設

ほたるの里食堂

白銀南の「ほたるの里」地区で子ども食堂を始めます。子どもたちを地域全体で見守る居場所をつくり、世代を超えた交流・憩い・学びの場を目指します。

- ①毎月第2(土)
- ②11時～14時
- ③白銀南公民館
- ④大人300円
- 固みなみっと
- TEL 090-9740-3331

7年度
開設

わんぱく食堂

要申込

八戸学院大学ボランティアアサークルの学生と一緒に食事を作ったり食べたりして、食の大切さや仲間とのつながりを感じながら、楽しい時間を過ごしましょう。

- ①毎月第3(土)
- ②10時30分～13時
- ③みんなの森オアゾ
- ④無料
- 申間八戸学院大学
- TEL 30-2109

すこやか子ども食堂

要申込 甲府みらい希望アシスト E npo.mi.ki.a@gmail.com



- ①毎週(日)
- ②11時～13時15分
- ③河原本地域集会所
- ④中学生以下無料、大人600円



子どもの部活動を見学したときに、顔色が悪く、うつむいていた子を見かけました。その子は朝ご飯を食べないで学校に来ていたと聞き、とても驚きました。そんな子どもたちのために何かしたいと思い、子ども食堂を開設しました。

毎回50～60人の利用者がいます。子どもは、ごはん・スープ・サラダのおかわりが自由なので、たくさん食べてほしいです。高校生・未就学児同伴者は200円で食事ができます。

利用した子どもに「今まで食べた料理の中で一番おいしい」と喜んでくれたことがうれしかったです。保護者からも家計が助かっていると言われています。お気軽にご利用ください。



代表 坂上努さん

チーム餃子子ども食堂

園カフェ&キッチンair ☎090-3962-4521



- ①毎週(水)
- ②15時～18時
- ③カフェ&キッチンair
- ④中学生以下無料



普段カフェとして営業しているため、周りの人から食材をいただくことが多く、どうしたら子どもたちに還元できるか考え、子ども食堂を開設することにしました。

毎回60人程度の子どもたちが利用しており、無料で料理やお菓子が食べられます。さまざまな年齢の子どもたちが集まり、一緒にテーブルでご飯を食べています。利用した子どもから、「餃地区に子ども食堂があって良かった」と言われたことが印象に残っています。

スペースが限られているため、今年度の対象は子どものみにしていますが、申し込み不要で利用できますので、ぜひお越しください。



代表 木村彰子さん

あさひがおか食堂いただきます

要申込 甲府あさひがおか食堂いただきます ☎090-5847-9824



- ①2か月に1回 第4(日)
- ②11時～13時
- ③東公民館
- ④大人300円



共働きの家庭が増え、1人で食事をする子どもや、1人暮らしの高齢者が増えてきているのを感じ、子どもから大人までみんなで一緒に食卓を囲む楽しさ、おいしさを感じてほしいと思い、7月に子ども食堂を開設しました。

8月に開催した際は、約80人の利用がありました。みんなで一緒に「いただきます」と言って食卓を囲み、楽しい時間を過ごしています。こだわりは、旬の食材を使うことと料理を手作りすることです。子どもたちが「おいしい」と言って何回もおかわりしてくれるのがうれしいです。

旭ヶ丘地区に住んでいない人でも参加できますので、ぜひみんなで一緒に食べる楽しさを味わいに来てください。



代表 高橋智子さん

7年度
開設

市の支援事業をご紹介します

▶ 八戸市子ども食堂等物価高騰対策支援金

長引く物価高騰の影響を受けている子ども食堂の運営団体に対して、実施1回当たり1万円(上限50回)の支援金を給付します。詳しくは、子育て支援課にお問い合わせください。



詳しくはこちら

▶ 八戸市こどもの居場所づくりコーディネート事業

子ども食堂などの居場所の新規開設や運営の相談などを行うコーディネーターを配置し、支援体制を強化します。

居場所づくりに関する各種相談を受け付けていますので、子ども食堂を始めたい人や支援したい人、利用したい人など、お気軽にご相談ください。

ちょうじゃこども食堂

要申込 申間ワーカーズコープ・センター事業団 ☎20-8680



- ①毎月最終(日)
- ②10時～13時
- ③長者公民館
- ④無料



— 子ども食堂を始めたきっかけは？

仕事で家計管理が苦手な人の支援をしていた際、その家庭の子どもが朝ご飯を食べていないこと、菓子パンやカップ麺ばかり食べていることを知りました。そのような子どもたちに、月に1回でも温かい食事を提供したいと思い、子ども食堂を立ち上げました。

— こだわっているところは？

旬の果物やデザートを加えることで、季節を感じてもらったり食事を楽しんでもらったりできればいいと考えています。食事だけでなく、学習サポートやゲームなどのさまざまな体験の機会を提供しています。

— 苦労したこと、良かったことは？

食堂を立ち上げた頃は、「子ども食堂」という言葉があまり知られていなかったもので、施設を借りる際に「子どもに無料でご飯を食べさせたい」と話してもなかなか伝わらず、苦労しました。今では協力してくれる人が増えてきて、活動がしやすくなっています。

この活動をしていなかったら出会えなかったであろう人と出会えたこと、仲間ができたこと、たくさんの子どもの成長する姿を間近で見ることができていることが良かったと思います。

— 印象に残っていることは？

子どもに「普段食べられない料理が食べられてうれしい」と言われたこと、ボランティアの人に「食堂に来ると地域のつながりが感じられて、居場所を得られたような気がします」と言われたことがうれしかったです。

また、食堂に来て、食事の時間になると帰ってしまう子どもがいましたが、利用し始めて2年以上たったある日、「今日はみんなと一緒にご飯を食べていくよ」と言って、初めて食卓に座ってくれました。それからは毎回食事をするようになり、みんなと楽しんで過ごしている様子が印象に残っています。

— 利用しやすい食堂にするための工夫は？

子どもたちが喜びそうな体験活動を毎回企画して、宣伝しています。今までに実施して人気があったのは、スイーツ作りやプログラミング教室で、利用したことがなかった子どもたちから申し込みがありました。食堂を利用する最初の一步として、興味のある体験活動に来てもらえればいいと思っています。

— 今後の展望は？

今は小学生～高校生が対象ですが、子どもだけでなく高齢者など誰でも気が向いたときに立ち寄ることができる、地域の集会所のような場所をつくりたいと思っています。いつも誰かがいて「おかえり」と迎えてくれる居場所にしたいです。

— 食堂を利用してみたい人へのメッセージ

子ども食堂は、食事や体験活動、勉強などをして、子どもが安心して過ごせる居場所です。誰でも利用できますので、ぜひ一度利用してみてください。



副所長 小柴智美さん

●時間 平日8時15分～17時

※(土)(日)(祝)・年末年始を除く

●場所 はちふくプラザねじょう1階

☎八戸市こどもの居場所づくりサポートセンター

☎47-2940



詳しくは
こちら

また、子ども食堂への食材の支援を受け付けています。家庭菜園で作りすぎて消費しきれない野菜や、売り場に出せない規格外の食材などがありましたら、食材の寄付をご検討ください。

詳しくは、サポートセンターにお問い合わせください。